

平成二十九年年度 第三回

- 線部A「意外」の類義語を、漢字二字で書きなさい。
- 線部B「見当」の同音異義語(発音が同じで意味が異なる語)を、漢字二字で書きなさい。
- 線部C「祝」の漢字をひらがなで書き、部首の部分のみを行書で書きなさい。
- 線部B「ない」と同じ意味・用法のものを、ア～エから一つ選び、記号で答えなさい。
 ア 彼女とは試合をしない。 イ 参加の希望者は少ない。 ウ 今日あまり寒くない。 エ 会議で出た意見はない。
 C に適切な漢字二字を書きなさい。

平成二十九年年度 第二回

- 線部A「注意」と同じ構成の熟語を、ア～エから一つ選び、記号で答えなさい。
 ア 重視 イ 明暗 ウ 読書 エ 創造
- 線部B「食べるにこしたことはなかった」の意味として適切なものを、ア～エから一つ選び、記号で答えなさい。
 ア 食べても悪くはない。 イ 食べるのが一番よい。 ウ 食べるのはよくない。 エ 食べてはいけない。
- 線ア「生活」の二字を、点画の連続や省略を用いて、行書で書きなさい。
- 線イ「進行すれ」の動詞の活用の種類と活用形をそれぞれ書きなさい。
 この状態が進行すれば、魚食文化がこの群れに定着するかもしれず、大変興味のあることだ。

平成二十九年年度 第一回

- 線部A「私」とあるが、点画の省略・連続を用いて行書で書きなさい。
- 線部B「どうやらそれがニッコリと笑った。」について、主語と述語を探して、抜き出して書きなさい。
- 線部C「()を投げられた」について、()に語句を入れて適切な慣用句にしたい。ひらがな二字を書きなさい。
 ちよつとお願ひしただけで、株で大もうけしたり、お医者さんに()を投げられた病気がケロリと治つたり……
- 線部A「看過することのできない」の意味としてふさわしくなるよう、()の中に四字を書き入れなさい。
 () ことができない。
- 線部B「結果」・C「自然」の対義語を漢字二字で書きなさい。

平成二十八年年度 第三回

- 線部「へA」を裂く」について、へA」に語句を入れて適切な慣用句にしたい。次から漢字二字を選び、熟語にして書きなさい。
 「したけど(でも)よ、うちでは親子を離す時、ゆっくりゆっくり馴らすようにしてる。ある日を境にいきなり引き離すところも多いけど、もし事情が許して時間と手間をかけてやることできるんなら、へA」を裂くようなまねはしないに越したことはないもね(ものね)。
- 線部C「合図」と同じ湯桶読み(訓+音)となる本文中の熟語を、ア～エから一つ選び、記号で答えなさい。
 ア 馬場 イ 長年 ウ 混乱 エ 小鼻
- 線部A「黙」の漢字について、部首名をひらがなで書き、部首の部分のみを、行書で書きなさい。(両方合って正解)
 線部B「あいまいな」と同じ品詞となる本文中の単語を、ア～エから一つ選び、記号で答えなさい。
 ア 速い イ いったい ウ 豊かな エ 大きな

平成二十八年年度 第二回

- 線の漢字を行書で書いたとき、楷書とは筆順が変化するものを、ア～エから一つ選び、記号で答えなさい。
 ア 身 イ 空 ウ 取 エ 懐
- 線の動詞A「踏ん」B「見つめ」の活用の種類を、それぞれ省略せずに正しく書きなさい。
- 線部「原因」の対義語を漢字で書きなさい。

平成二十八年年度 第一回

- 線部A「かかっている」は連文節としてはたらいっているが、ここで見られる文節どうしの関係を何と言うか。ア～エから一つ選び、記号で答えなさい。
 ア 主・述の関係 イ 修飾・被修飾の関係 ウ 並立の関係 エ 補助の関係
- 線部イ「うそぶいた」の意味として適切なものを、ア～エから一つ選び、記号で答えなさい。
 ア 偉そつに大きなことを言うこと。 イ 口をすぼめて息や声を出すこと。
 ウ とぼけて知らないふりをする。 エ 事実でないことを言いますこと。
- 線部ウ「乗車」と同じ組み立ての熟語を、ア～エから一つ選び、記号で答えなさい。
 ア 通学 イ 勝負 ウ 運転 エ 最後 オ 乗務
- 線部ア「科」の部首名を書きなさい。また、その部首を行書の特徴の一つである筆順の変化を用いて、行書で書きなさい。